

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
分担研究報告書

中高年者の精神的健康に関連する社会環境要因の検討

研究代表者 田宮菜奈子 筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野 教授
研究協力者 太刀川弘和 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学 准教授
研究協力者 高橋晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学 准教授
研究協力者 相羽美幸 東洋学園大学人間科学部 講師
研究協力者 仲嶺真 筑波大学大学院人間総合科学研究科 研究員

研究要旨 中高年縦断調査、国民生活基礎調査の2種類の大規模データを用い、中高年者の精神的健康にソーシャル・キャピタル、自然環境、食生活、災害などの社会環境要因が与える影響について検討することを目的に、指標作成など基本的な研究整備を行った。その結果、両調査データからの精神的健康指標等の抽出、各種統計からの公開統計情報のデータ整備を行い、個人レベル・集団レベルの指標を抽出できた。また、中高年縦断調査を用いてソーシャル・キャピタル指標を作成した。国民生活基礎調査では、睡眠時間・充足度の地域による特性の違いを見出した。今後これらの指標を用いて順次統計解析を実施し、精神的健康に影響する個人・集団レベルの社会環境要因の影響を見出していく。

A．研究目的

近年、介護者、被介護者に関わる中高年者の問題として認知症、うつ病、不眠など、精神的健康の維持が課題となっている。そこで、地域包括ケアを行う上で、中高年者の精神的健康の基本的理解は重要な検討対象である。しかし、我が国における中高年者の精神的健康の影響要因については、精神医学領域からの生物学的・臨床的検討が多く、社会環境要因の影響は十分に解明されていない。そこで今回我々は、中高年縦断調査、国民生活基礎調査の2種類の大規模データを用い、中高年者の精神的健康にソーシャル・キャピタル、自然環境、食生活、災害などの社会環境要因が与える影響について検討することを目的に、研究を開始した。

B．研究方法

対象は、中高年縦断調査、国民健康基礎

調査の全データである。方法は、

- 1．中高年縦断調査と国民生活基礎調査から、個人レベルの精神的健康に関わる指標、ならびに従来の報告で精神的健康に影響があるとされる生物・心理・社会指標を抽出・作成する。
- 2．総務省統計局のe-STAT、内閣府の自殺の統計、気象庁の地域気象データ、日総研のソーシャルキャピタルデータなど、その他各種の公開統計データから集団レベルの地域別社会統計指標を収集する。
- 3．得られた中高年縦断調査、国民生活基礎調査の個人レベルデータと集団レベルの各種地域別社会統計指標データをマージし、マルチレベル解析等の統計手法を用いて、中高年の精神的健康への社会環境要因を検討する。

（倫理面への配慮）研究全体の倫理委員会認可要項に順じ、十分な配慮を行っている。

C . 研究結果

中高年縦断調査と国民生活基礎調査のデータから、精神的健康指標と関連指標を抽出し、その内容から、今年度は次の解析テーマを設定した。

1 . ソーシャル・キャピタルが中高年の精神的健康に及ぼす影響

中高年縦断調査からソーシャル・キャピタル指標を作成し、ソーシャル・キャピタルと中高年の抑うつや地域自殺率との関連を検討する。

2 . 中高年の睡眠時間・睡眠充足度と精神・身体疾患との関係

国民生活基礎調査から、睡眠の量と質の違いと精神・身体疾患の関係を他の地域変数を統制して個人レベル、集団レベルで検討する。

このうち、1については日総研やe-statによる地域指標を収集・整備し、中高年縦断調査を用いてソーシャル・キャピタル指標を作成することができた。現在、作成した指標の信頼性と妥当性を検証する分析を行っている。2については、都道府県別に健康票の睡眠時間・充足度に関する変数の回答比率を性別・年齢別に検討し、地域による睡眠特性の違いを見出した。現在、気象環境などの地域特性とADL、疾患などの個人特性の影響についてマルチレベル回帰分析を準備中である。

D . 考察

今年度の研究では、解析テーマ設定と変数抽出、統計データの整備など解析の基本的な準備を完了することができた。また、ソーシャル・キャピタル指標の作成、地域別睡眠特性など精神的健康に関わる重要指標の知見を得ることができた。これらの精神的健康指標、ならびに社会環境要因指標は、従来報告も散見されるが、全国規模の大規模データを用いたエビデンスは少ないことから、今後精神医学のみならず、公衆

疫学領域で重要な貢献が期待できる。これらの指標を地域と個人の両視点から詳細分析し、次年度は知見を順次論文文化していく。また、災害の影響、自殺への影響など、本データを用いた他の解析テーマについても順次実施していく。

E . 結論

1 . 中高年縦断調査、国民生活基礎調査のデータを用い、精神的健康に影響する社会環境要因の検討を行った。

2 . 個人・集団レベルの指標を選択・作成し、今年度ソーシャル・キャピタル、睡眠の二つの解析テーマを設定し、それぞれ指標作成や地域差に関する知見を得た。

3 . 今後統計学的解析を進め、得られた知見を順次報告していく。

F . 研究発表

1 . 論文発表
なし

2 . 学会発表
なし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

G . 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1 . 特許取得
なし

2 . 実用新案登録
なし

3 . その他
なし